

春学期フランス語講座 視聴覚クレディフ

会話力を伸ばす!

本講座は、フランス本国で開発された視聴覚の教授法を用いた講座です。コミュニケーション能力を効果的に身につけることを目的にしていますので、話せるようになりたい方にぴったりの講座です。

～反射的に言葉が出てくるメソッド～

この教授法は、アフリカのようなフランス語圏で字の読めない人たちが上質のフランス語を習得するために開発されたメソッドです。このメソッド最大の特徴は、文字が無く、スライドと音のみの直接教授法にあります。つまり、目(スライド)と耳(音声)からのアプローチだけで実践的な訓練を行っていくのです。通常の講義スタイルとは異なり、発言の機会も多く、コミュニケーションの道具としてフランス語を実際に使うことに重点を置いた内容になります。自宅での予習はほとんど必要なく、教室での授業のほか、復習の一部である応用練習、反復練習までも教室やラボで担当講師の指導のもと、系統立てて綿密に実施されます。ですので、無理なく、効率よく、着実にフランス語の実践的な総合力を身につけることができます。クレディフのメソッドであれば、自分では見つけるのが難しい、フランス人が良く使う言い回しを、知り、覚え、使えるようにすることが可能になるのです。

●Présentation●



前方のスクリーンに映された画像を見ながら、同時に流れてくる音声を聴き取ります。そして、講師が単語などの意味を説明します。生徒ひとりひとりが理解しているかを確認するために、生徒をどんどん当てて答えさせていきます。これが反復練習になります。また、同時に発音矯正も行います。

●Mémorisation● ●Exercices de réemploi●



次にラボ室へ移動します。ラボ室にはひとりずつのブースがあり、USBメモリでの録音ができます。先程学んだフレーズや、文法事項の練習問題を録音します。講師は録音の間にモニターをしていて、間違いを訂正します。繰り返し声に出して練習することで、自然と口からフレーズがでるようになります。

●Exploitation●



ラボ室での演習後は、これまでに学んだ新しい単語、表現、文法事項などを使って、講師と生徒の間で質問と答えのやりとりを行い、その日に学んだことがしっかりと身につけているかを確認します。また、2～3人のグループで、スライドの登場人物になりきって発表を行います。